

# 2025年度 中国・四国工学教育協会 産業教育部会 見学会

## ●見 学 日

2025年12月11日（木）

## ●見学スケジュール（予定）

|                |                   |                           |                     |                |                     |
|----------------|-------------------|---------------------------|---------------------|----------------|---------------------|
| 集合 8:20        | 8:30~9:40<br>貸切バス | 10:10~10:45<br>フェリー(貸切バス) | 10:45~10:50<br>貸切バス | 見学 10:50~12:00 | 12:00~12:10<br>貸切バス |
| 広島駅新幹線口        | ~~~~ 安芸津港         | ==== 大西港                  | ~~~~                | 観智学園（見学）       | ~~~~ CR 実証拠点        |
| 12:10~13:00    | 見学                | 13:00~14:50               | 14:50~15:00         | 見学 15:00~17:00 | 17:00~17:05         |
| 昼食(CR 実証拠点会議室) | CR 実証拠点           | 貸切バス                      | 大崎クールジェン            | 貸切バス           | ~~~~ 大西港            |
| 17:25~18:00    | 18:00~19:30       |                           |                     |                |                     |
| 大西港            | ==== 安芸津港         | ~~~~ 広島駅新幹線口              |                     |                |                     |
|                | 貸切バス              |                           |                     |                |                     |

## ●見学場所

### □広島県立広島観智学園中学校・高等学校

#### 〔概要〕

広島県の「学びの変革」アクション・プランのモデル校として、2019年4月に開校しました。瀬戸内海の豊かな自然環境の中で、先進的な教育に取り組んでいる学校です。

#### 〔特徴〕

- ・国際バカロレア教育：国際的に通用する大学入学資格が取得できる国際バカロレア・プログラムを導入しています。国際バカロレア（International Baccalaureate：略称「IBJ」）：国際的な視野で行動するための能力やスキルを育むとともに、世界中の大学に進学する際に使える入学資格（国際バカロレア資格）を得る学習プログラム。
- ・グローバルな人材育成：英語教育に力を入れており、多くの授業が英語で行われています。
- ・全寮制：生徒は6年間、島で共同生活を送ります。
- ・少人数教育：1学年の定員は40人程度で、きめ細かな指導を行っています。

### □カーボンリサイクル実証拠点

#### 〔概要〕

新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）が整備した火力発電所から回収したCO<sub>2</sub>を研究に利用できる、国内初の拠点です。

#### 〔特徴〕

隣接する大崎クールジェン（株）の次世代火力発電実証設備から、分離・回収されたCO<sub>2</sub>が直接パイプラインで供給され、実際の排出源を想定した環境での研究開発が可能となります。

### □大崎クールジェン

#### 〔概要〕

石炭ガス化による高効率発電と二酸化炭素（CO<sub>2</sub>）の分離・回収を組み合わせた「革新的低炭素石炭火力発電」の実証事業を行っています。

#### 〔特徴〕

- ・高効率発電：石炭をガス化して、ガスタービンと蒸気タービンの両方で発電する「酸素吹石炭ガス化複合発電（酸素吹IGCC）」という方式を採用しています。
- ・CO<sub>2</sub>分離・回収：CO<sub>2</sub>を効率的に分離・回収する技術を組み合わせ、CO<sub>2</sub>排出量を大幅に削減することを目指しています。実証試験では、90%以上のCO<sub>2</sub>回収率を達成しました。
- ・燃料電池：燃料電池を組み合わせ「CO<sub>2</sub>分離・回収型IGFC」の実証も行われ、石炭から水素を取り出し、水素発電も可能なシステムであることを示しました。

## ●対 象 者・募集定員

中国・四国工学教育協会会員、協賛学会・団体会員、学生：20名（先着順）

## ●参 加 費 ￥1,000-（昼食付）

集合場所までの交通費は、自己負担でお願いします。

## ●申込み期限

2025年11月14日（金）必着（定員に達した場合、期限前に〆切とする場合があります）

## ●申込方法

以下のアドレスよりお申込みください。

<https://forms.office.com/r/kVPuNMCvnS>

Forms にアクセスできない場合は事務局へご連絡ください。別途「講演会参加申込書」を送付させていただきます。

## ●問合せ

中国・四国工学教育協会 大学教育部会事務局（担当 藤川）

〒730-8702 広島市中区小町 4-33 中国電力ネットワーク（株）ネットワーク設備部（技術企画）

Tel：050-8202-3186 Fax：082-544-2684 E-mail：[T-SANGYO@pnet.energia.co.jp](mailto:T-SANGYO@pnet.energia.co.jp)

## ●協 賛

中国・四国工学教育協会 大学教育部会、高専教育部会

日本機械学会中国四国支部、中国地区化学工学懇話会、腐食防食学会中国四国支部

電気学会、電子情報通信学会、情報処理学会、電気設備学会、照明学会、

映像情報メディア学会、計測自動制御学会、日本電気技術者協会 各中国支部